

令和 7 年 3 月 6 日

足立区立第六中学校
学校長 鵜飼 康成 様

足立区立第六中学校
開かれた学校づくり協議会
会長 堤 貴央

令和 6 年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

コロナウイルスの影響もかなり減少し、生徒もののびのびと活動的に学校生活を送っている印象を受ける。保護者・地域も学校に協力的である。

令和 6 年度の学習への取組みについては、「授業の始めに示された（ねらい）を理解し、見通しをもって学習に取り組んでいる」が前年度比 10.8%増、「授業で学習したことを（振り返る）活動に取り組んでいる」が前年比 8.6%の上昇と意欲的に学習していることがうかがえる。また「数学の学習が好き」が前年度比 8.3%の上昇で不得意性のある教科の上昇は素晴らしい成果であり、教職員の熱心な指導の結果と考える。課題としては、「理科の学習が好き」が前年度比 11.7%の減少と総合的な学力向上に期待する。

「問題が解けた時、別の解き方を考えようとしている」が前年比 9.2%の上昇、「分からないことはそのままにせず、わかるまで努力している」も前年比 10.7%の上昇である。全体的に学習意識向上と思える。

生徒たちが日々の学校生活の中で自発的に考え行動に移し、特別支援学級生徒と共に学校行事や学校生活を送ることで仲間意識の向上、共生・共助の社会への理解を深めていることは、生徒がやがて社会人となったときに理解し必ず役立つことであると思う、今後も継続して今まで以上のご指導をお願いしたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

保護者、町会・自治会、同窓会、開かれた学校づくり協議会は、保護者・地域として学校に関わり、学校を大切に考え、学校を誇りに思っている。協議会主催の「花いっぱい運動」や「あいさつ運動」にもたくさんの方々の協力に感謝しています。

コロナウイルスの制限が減少し運動会・文化祭などの学校行事に協議会及び保護者が参加できたことがうれしく思います。見学人数も増え、PTA の皆さんの負担もかなりの事だと思います。今後は近隣小学校との連携活動も並びに、生徒と地域、教職員と地域、保護者と地域の円滑かつ積極的な関わり合いにより第六中学校を更に盛り立てて行く所存である。

3. その他

令和 6 年度は地域行事として本木氷川神社の大祭が行われました。3 年ごとのお祭りですが前回はコロナウイルスの影響で中止となり 6 年ぶりの大祭となりました。楽しく御神輿を担ぐ生徒も見受けられました。学力の向上と共に、社会の一員として体现できる生徒の増加は本当に誇らしい限りである。これもひとえに厚く指導して頂いている教職員に感謝する次第である。

困難に耐え得る心身を持ち、互いに尊重し助け合い、目標に向かって生き抜く力を持った社会人を輩出して行く第六中学校であってほしいと願う。